

会 議 録

1 会議名

第2回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告（公開）

ア 会長報告

（報告なし）

イ 委員報告

・地域協議会委員の報酬について

ウ 市からの報告

（報告なし）

(2) 審査（公開）

ア 平成29年度 浦川原区地域活動支援事業の審査について

・提案者によるプレゼンテーション及び個人審査

・全体審査

(3) 協議（公開）

ア 次回の開催日について

3 開催日時

平成29年5月21日（日）午前9時00分から午後3時15分まで

4 開催場所

浦川原地区公民館3階 講堂

5 傍聴人の数

7人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：五十嵐広美、池田幸博、市村一雄、杉田和久、福井克利、藤田宏経会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長

・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、岩野次長、総務・地域振興グループ岩野グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、教育・文

化グループ五井野グループ長、市民生活・福祉グループ太田上席保健師長、総務・地域振興グループ飯野班長、宮川班長、勝島主任

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・出席者は10人。欠席委員は金子委員、西山委員。
- ・会議録の確認は五十嵐広美委員に依頼

【藤田会長】

それでは次第に沿って進めていきたい。今回、「(1) 会長報告」は持ち合わせていない。次に「(2) 委員報告」で、池田委員より報告があるということでお願いします。

【池田委員】

町内会への配布物で市議会だよりの「かけはし」が配布されていると思うが、裏を見ると5月15日に安塚コミュニティプラザで議会報告会・意見交換会があり参加してきた。数名の議員が来られて、いろいろな説明があった。場所が安塚区ということで、安塚区の協議会の委員や町内会長が多く、他区では私と柿崎区の方が1名来ていた。地域協議会委員の手当について、お聞きしたいことがあり参加させていただいた。

私たちは1回、1,200円ということになっており、これは手当ではなく交通費ということである。本日はスケジュールがいっぱいであるが、質問の内容等、メモを読ませていただいて、後程皆さんからご意見をいただきたいと思っている。

質問の内容は、地域協議会委員の手当についてどのように考えているか伺いたい。個人の考えでも、議会の方針でも結構である。私は6年前から浦川原区の地域協議会委員をさせていただいていて、浦川原区では前期に大きな問題が2つあった。

1つは小学校の統廃合の問題と、もう1つは温浴施設「ゆあみ」の休業の問題である。この2つについて委員以外の関係者を含め、いろいろ協議して結論を出してきた。プロセスは省くが、結果は行政の筋書き通りになった。しかし、私たちは行政に対し安易に迎合したわけではなく、いろいろな議論を尽くし民意を得た結果だと思っている。

もし、地域協議会がなかったら誰がこの問題を解決していたのか、行政なのか、地元の議員なのか、行政なら地元の反対の署名がたくさん集まり先延ばしになっていたかもしれない。議員では選挙での自分の票が関わることのように一生懸命になってくれたか。

私はそうは思わない。このように、市政に対し寄与、貢献している地域協議会委員に対し無報酬、ボランティアということは理解しがたいところがある。それを超えて理不尽な不条理な範疇に入る案件だと思われる。

上越市の地域協議会委員は390人おり、月1回、会議があるとして390人×12回×1,200円で560万円ほどになる。市会議員1人の年俸より100万円も少ない仕事しかしていないのか。私はそう思わない。

「大・浦・安」大島、浦川原、安塚の3区で年1回、合同の勉強会を行っている。昨年は浦川原区で開催して、福島大学で地域自治体の研究をされている先生からお話を聞いた。その中で上越市の地域協議会の活動について「先端を行っている。」というお褒めの言葉をいただいた。

先生への質問で委員の手当についての質問があった。答えは「ヨーロッパでは皆ボランティアでやっている。」といった答えであった。私は間違っているのではないかと思う。歴史的、経済史的な背景が違う。子どもころ「ゆりかごから墓場まで」といったことを学校で教わったが、特にヨーロッパでは医療、教育、福祉など社会保障などが充実していて、その財源はどこから来ているのか、それは消費税ではないかと考える。15%、20%の消費税は当たり前といった歴史的背景がある。一方、日本ではどうかというと、3%から5%へ、5%から8%へということで、その程度でも政権が揺らぐということが現実である。それを同じテーブルへ乗せるということ自体違うのではないかと思う。

市場主義経済と言われている私たちの状況下で、それなりの成果を上げて仕事をしている人たちにとって対価がないということは間違っていると思う。2,000円が3,000円、3,000円が5,000円になれば委員も勉強するだろうし、資質も上がる。自覚も責任も今以上に強く持つと考えられる。委員の数が不足、関係者が東奔西走することもなくなるかもしれない。行政の仕事と議会の仕事がクロスオーバーする内容もあったかもしれないが、明晰なる説明やお考えをいただきたい。よろしく願います。

といった内容の質問をした。答えは、「善処します。」ということであった。今回は議会報告会ということで、議員個人の考えや気持ちは言えないということであったが、個人的には地域協議会の委員にも手当をしなければならないと考えている議員もいるということがわかった。

このまま何もしなければ何も変わらないままであり、最悪、この地域協議会がなくなってしまうことも考えられるわけで、この地域協議会という役割を考えた場合に、例え

ば、手当てをいただくためには他地区の地域協議会と連携して意見書等を出していくと
いったこともしなければならぬと考える。そのためには、この浦川原区の地域協議会
の中で皆さんの知恵や知識をお借りして、この先やっっていけばいいのではないかと思う。

【藤田会長】

報告ということで承って、後で協議させていただきたいと思う。大浦安の会長の間で
は、池田委員の言われたように、将来の地域協議会を有意義にしていくためには手当は
必要であると合意されているが、なかなか行政や28区全体では熟していないというこ
とが現実である。

次に「(3) 市からの報告」で何かないか。

(会場内から「ありません。」の声)

次に、「3 審議」であるが、その前に「4 協議」の「(1) 次回の開催日について」
で、6月23日(金)午後6時30分から飯室の浦川原里山地域活性化センターの多目
的室で開催したいと思っている。これについて何か異議はないか。よろしいか。

(開場内から「はい。」の声)

よろしく願いしたい。

それでは「3 審議」で「(1) 平成29年度 浦川原区地域活動支援事業の審査につ
いて」これよりプレゼンテーションをしていただくが、準備のためしばらくお待ちいた
だきたい。

(会場準備後、再開)

【藤田会長】

それでは審査に入る。平成29年度浦川原区地域活動支援事業の審査を行う。

事務局から手順について説明をいただいてから、その後プレゼンテーションに入る。
それでは事務局から説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

(資料1～5に沿って説明後、引き続き当日配布資料により担当課所見を説明。)

【藤田会長】

それでは、午前9時30分からとなっており、手元の時計が午前9時21分というこ
とで、4分間の休憩とする。

(午前9時21分から4分間休憩後、午前9時30分から再開。)

【藤田会長】

それでは、平成29年度浦川原区地域活動支援事業の審査に移る。

早速だが、自己紹介をいただき、提案事業について説明をお願いします。説明する時間は10分とさせていただきます、時間になったら説明の途中であっても打ち切らせていただくのでご協力をお願いします。それでは、「ふるさと公園『モミジまつり』事業」について説明をお願いします。

【ふるさと公園の桜を楽しむ会】

(ふるさと公園「モミジまつり」事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の方から、このプレゼンに対してご意見、ご質問があればお願いします。

【市村委員】

以前に聞いたことがあるのだが、苗木を買ったら保険というか、万一枯れたりする場合もあると思うが、その辺の補償等が今回ないのかどうか聞かせたいということ、植樹も桜の会がやるのか業者が植えてくれるのか。

【ふるさと公園の桜を楽しむ会】

苗を購入する業者から3人ほど、3日間のお手伝いをお願いしている。ただ、枯れた場合等については検討中である。

【池田委員】

事業の収支計画で収入の部分でオーナー制といった説明があったが、1本3,000円で30名ということであったが、この30名は全て地元の方なのか、中猪子田出身で地元在住以外の方も入っているのか。

【ふるさと公園の桜を楽しむ会】

今現在は地元の方が多いが、地区以外からも問い合わせが来ており、できるだけ広く募集していきたいと考えている。

苗は3mほどの苗を植えさせていただき、直径はコーヒー缶ほどの太さのものを希望しており、植えてから早ければ3年で色が着くということで、遅くても5年で良い木になると思われる。先ほど事務局長から話があったが、農業高校の林野系統の先生から指導をいただきながらやっていきたい。

【藤田会長】

この会については、平成22年から大変努力されており、観桜会を開いていただき、地域活性のために努力いただいていることには感謝申し上げます。事業費については有効に活用していただき成功裏に終わっていると感じている。今後もご期待申し上げます。

合計金額が17万5千円不足しており、減額されてもこの事業の実行のご意志を確認させていただきたい。

【ふるさと公園の桜を楽しむ会】

多少減額されても有志の会でまとめていきたいと考えている。

【藤田会長】

地域の課題解決に向けて、今後も取組されることをご期待申し上げます。

(次の提案者と交代)

自己紹介をしていただき、提案事業について説明いただきたい。それではお願いします。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

(第9回浦川原和太鼓祭の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんから、ご質問があればお願いします。

ないようなので、私の方から。提出されている提案書の中で直近の会計収支決算で25万2千8百円のマイナスが出ているが、この部分についてどうお考えになっているのか。もう一つ、資産の管理台帳についてはどうされているのか。今まで太鼓の購入等があったが、その辺の内容をお聞かせいただきたい。そしてもう一点、上越市の後援ということであるが、共催という形にはならないのか。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

250万円超の赤字決算については、平成28年度の活動決算書に基づくと、減価償却費が260万円ほど出ており、経費として認められている項目であり、それをマイナス計上すると最終的にマイナスとなる。特に流動資産が不足して借金が増えているわけではない。

備品管理台帳は、過去、3つ太鼓を購入させていただいたが、固定資産台帳で管理させていただいている。何月何日にいくらで購入して、償却、耐用年数が何年、28年の期首価格、減価償却費、28年の期末残存価格ということで合計している。その他に持っている資産もあり、それも含めると、6,312,923円の固定資産を所有している。

共催ではなく後援とさせていただいている理由だが、2月20日だったと思うが、報告会でご指摘いただいた件で、その後、市の担当者と協議した。共催がもらえるか、も

らえないかは別として、共催とは「共に催す」という字のごとく、我々、法人保倉川太鼓と上越市が共に催すものであり、上越市との共催となると浦川原体育館の利用料が半額となることは確認済みである。しかし、我々が第1回からやっていることは保倉川太鼓による、保倉川太鼓が運営、出演する保倉川太鼓の手作りイベントである。特に上越市の方々に何かしていただくとか、人的支援をいただくとか、チラシを作ってもらい、宣伝していただく、駐車場係をしていただく、会場設営していただくなどということは望んでいない。ということで、共催の申請はしていない。

なぜ後援かというのと、後援がないとポスターが掲示できないところがあり、広報上越の掲載もできないということで後援として、共催とはしないということである。

【藤田会長】

その辺、市が出すべきものを無理していただかないで、この地域活動支援事業に委ねているということについてはどうお考えか。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

例えば、共催をいただいても、会場費が3万円なら1万5千円が浮く形となる。そうしろということであれば、検討しなければならないと思う。例えば共催いただければ浮くはずの1万5千円を団体に負担しなさいということであれば、おっしゃるとおりにする。

【藤田会長】

お金のことを言っているのではなく、基本的な問題は、上越市の団体であり上越市で目的の達成を図りたいということで、ここに公益性のある提案をされているわけで、その辺を市にどうアピールされるのかということをお聞きしたい。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

理事会、総会等で検討する。

【藤田会長】

総額で17万5千円オーバーしており、満額にならなくても事業を実施していただけるか。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

減額でも極端な話、^{ゼロ}0円でも実施する。

【藤田会長】

それでは、よろしく願います。

(次の提案者と交代)

それでは、自己紹介をしてから説明に入っていただきたい。

【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】

(地域活性化モデル事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんからご意見、ご質問を受ける。

【市村委員】

エンジン動噴の購入で、レンタルは面倒で難しいということなのか。

【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】

今までは中猪子田町内会の好意で2年間応援いただき、お世話になってきたが、倉庫の上の方にあり、上げ下ろしや運搬が大変であり、また、必要な日に借りられない等、そういったことがネックになって、今回応援していただきたいということで提案させていただいた。ご理解いただきたい。

【藤田会長】

他にないか。それでは私の方から、3点ほど質問させていただく。

1点目は、長走の集会所の使用料ということで載っているが、減免というわけにはいかないのか。そして2点目は、ライトアップ設備の設置と撤去で37,800円が計上されているが、これは毎年発生するのであれば、来年度から恒久的なものをお考えになった方がよいのではないか。3点目は、ライトアップ時の車の使用をどのような形であるのかお聞かせいただきたい。

【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】

ライトアップ設備の設置と撤去だが、今の形でやらせていただくと、毎年、その都度設置し、撤去するという作業が発生してしまう。今、お話があったように毎年ということで、何か工夫ができないか理事と相談していこうと思っている。

集会所の件は、町内会長とお話しさせていただいて、何とかお願いできないかという話をしてみたが、1,000円でどうかということで、時間ではなく1日1,000円ということで無理を聞いていただいている。1日の利用で1,000円はないだろうという方もおられると思うが、長走の桜の会会場という形でお借りしており、ご理解いただきたい。本日のプレゼンの内容を町内会長へお伝えして、相談させていただいた上で結果を報告させていただきたい。

ライトアップの車の使用料だが、私のトラックともう一人の方のトラック2台を使用しているが、期間は1週間程度で夜にトラックの荷台に乗せてライトアップしている。

利用料についてはボランティアということで、無料で作業させていただいている。

【藤田会長】

ライトアップの設備設置・撤去工事で37,800円があり、これに付随して設置のほかに、このライトアップの車が必要であるということか。場所が違うということか。

【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】

この設置・撤去の37,800円は、業者から来ていただいてライトを付けさせていただくということである。車の件だが、今年は4月15日、16日に観桜会を開催したが、その前の1週間、PRのため国道側で夜、午後6時から午後9時までライトアップ、提灯を発電機で回してPRさせていただいた。発電機を車に乗せて、盗難防止のため無人にするわけにもいかないということで、その車の費用ということである。

【藤田会長】

大変努力されていて、荒れた土地を観桜会の会場にまでこぎつけていただいたことについて大変感謝申し上げます。今後もライトアップの固定化についてもお考えいただきながらご努力いただきたいと思います。

全体で17万5千円の不足であり、減額があったとしても事業を継続していただけるか確認したい。

【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】

出していただいた金額でやらせていただきたいと思います。よろしく願います。

【藤田会長】

地域の課題解決に向けた取組を今後もお願いしたい。

(次の提案者と交代)

最初に自己紹介をいただき10分以内に説明をお願いしたい。

【浦川原中学校同窓会】

(浦川原中学校吹奏楽部支援事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんのご意見、ご質問を受ける。

【市村委員】

先ほどの説明で、「一応の区切り」ということで強調されているが、今回で吹奏楽部の支援は終わるのかと思うが、今後も同窓会として他の部活動に目を移していくという思いはあるのか。

【浦川原中学校同窓会】

吹奏楽部に限らず他の部もあり、例えば今年度、バスケットボール部がスタートするということで、今後は他の部に対しても同窓会が支援できることについては支援するが、楽器のように金額が大きなものがあれば同窓会として、こういった支援事業を活用しながら支援していきたいと考えている。吹奏楽部だけでないということである。

【杉田委員】

同窓会として、浦川原中学校への楽器等、備品に関する貸借の契約書のような書面を交わされているのか。あるとすれば、楽器ということで適切な管理のもと大切に扱うことになると思うが、もし、破損や不具合があった場合の修理費やメンテナンス費は同窓会が負担するのか。通常は、借りる側が適正な管理をして使用して、仮に破損や不具合があった場合には、借りた側が負担するものではないかと思うが、いかがか。

【浦川原中学校同窓会】

貸借の文書は特に交わしてはいない。ただ、同窓会で財産目録を作っていて、全体でいくつ備品を持っているという、台帳的な財産目録がある。そこに、「いつ、どの楽器を貸与した」といったことを記載している。

管理の件だが、以前から古い楽器、壊れそうな楽器は修繕費を同窓会が出しており、今後も学校側で出すということはない。教育方針上、市から出すのは無理だということで、PTAや同窓会で支援をしていかなければならないということで、今後も可能な限り修繕費等は同窓会から出して支援していきたいと思っている。

【藤田会長】

他にないか。全く活動のなかった同窓会を平成25年度から北澤会長はじめ役員の方々から立ち上げていただいて、大変ご努力いただいたことに感謝申し上げます。将来の子どもたちのためということで、提案いただいた。なお、全体で17万5千円が不足しており、減額されても事業の継続をされるかどうか確認したい。

【浦川原中学校同窓会】

減額されても事業は実施していきたい。足りない分は同窓会で自己負担していきたい。

【藤田会長】

では、よろしく願います。

(次の提案者と交代)

自己紹介をいただき、提案の説明をお願いします。

【中猪子田盆行事实行委員会】

(「俵みこし」の補修による盆行事事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

委員からご質問、ご意見はないか。

【村松進副会長】

今、お聞きした中で若い方たちがいないということだが、これは町内会の行事の一つだと思うが、私たちの町内会では3月の定例会で事業計画を立てて、困っているものを挙げてどの程度の負担をするか、いつお金を集めてそこへ使うか等を決める。この提案では町内会の負担がなく、この支援事業だけで賄うということで、できれば町内会で検討していただき、ここまでは町内会が負担して、ここからは支援事業でというようにすれば良かったのではないかと感じる。また、担い手がないということであるが、今後どのようにやっていくかお聞かせいただきたい。

【中猪子田盆行事实行委員会】

確かに町内会全体の行事ではあるが、町内会とは別の形で、あくまで有志による集まりでやっている状況である。全体ではなかなかまとまりにくいということで、こういった実行委員会を立ち上げる中で、地域をまとめるといった方向でこれからはいきたいと考えている。いきなり町内会から下りてくるということではなく、下から盛り上げていければと考えている。

【池田委員】

リヤカーについてお聞きしたい。リヤカーのタイヤでノーパンク等いろいろあるが、わかる範囲で教えていただきたい。

【中猪子田盆行事实行委員会】

情報は聞いていないが、地元の方々に聞いて、これが一番安いということで決めさせていただいた。

【池田委員】

みこしの重さが250kgということで、それを載せても耐えうるといった性能の物であると考えるとよろしいか。

【中猪子田盆行事实行委員会】

それでよろしいかと思う。

【藤田会長】

他にないか。それでは、この「俵みこし」の俵の中には何が入っているのか。そして由来を教えていただきたい。

【中猪子田盆行事实行委員会】

おがくずというか、軽い木が詰まっている。縛らなければならないのでギュウギュウに詰めているという話は聞いている。それよりも、みこしを載せる台の方が重いと聞いている。

重いということで、声を聴きながら毎年、いろいろ手直しをしながら、檜の木が良いのではということで檜にしたり、いろいろやってきているが、初めは私らがまだ青年会のころに始まったころということで、それから何十年も経っているが一向に変わらずにやってきている。

【藤田会長】

「俵みこし」そのものの由来はいかがか。

【中猪子田盆行事实行委員会】

由来はないのではないかと思います。当時は「みこし」を買うこともできないということで、俵型のみこしを手作りしたと思われる。最初は、私の父が作ったと聞いている。それが壊れて、今は別の方から作っていただいている。

【藤田会長】

他にないか。それでは全体で17万5千円が不足しており、減額されても事業の実施はされるのか。

【中猪子田盆行事实行委員会】

はい。やっていきたい。

【藤田会長】

地域での課題解決に向けて、今後の取組を期待する。

(次の提案者と交代)

それでは、自己紹介の後、説明をお願いします。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

(和太鼓購入事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

皆さんからご質問、ご意見はないか。よろしいか。

(会場内声なし)

総額で17万5千円が不足しているが、減額があってもこの事業を実施されるのか。

【特定非営利活動法人保倉川太鼓】

はい、0円では実施できないが、多少の減額であれば実施していきたい。

【藤田会長】

地域の課題解決に向けた取組に期待している。

それでは、進行が早まっており、午前11時25分まで休憩とする。

(休憩後、午前11時25分より再開)

【藤田会長】

それでは、プレゼンテーションを再開する。自己紹介の後、説明をお願いします。

【浦川原音楽協会】

(うらがわらファミリーコンサート事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

皆さんからご質問、ご意見はないか。

【和栗副会長】

支出の部の中で音響機材費として97,200円で、ピアノの調律料ということで、このピアノは個人の物なのか。

【浦川原音楽協会】

市民ホールに常設されているグランドピアノがあり、こちらを使わせていただく。

【市村委員】

22万円の補助が出たとして、入場者数が54人ということで、チラシを3,000枚配って54人しか来ないのかということで、費用対効果という部分を考えたときに少し疑問に思うのだが。入場料もいただくが、無料で聴いていただきたい人もいるのか、そうであれば別だが、この人数だとちょっと考えてしまうが、いかがか。

大島区でも音楽協会がやっているコンサートがあると思うが、私は行ったことはなくよくわからないが、大島の例を参考にしたのか、わかれば教えていただきたい。

【浦川原音楽協会】

入場者数の算出の根拠であるが、平成26年12月13日にクリスマスコンサートを開催したときに、出演するお子さんや、そのご兄弟のお子さんからは入場料は徴収していない。保護者や父兄、住民の方々から来ていただいたのが42、3人であった。それ以外は出演者側の方々やスタッフということであった。

あまり大風呂敷を広げて100人、200人集めるということは困難であるが、目標として、そういった気持ちで臨みたいと思っているが、今後、来年度、再来年度と認知されていくにしたがい予算規模の拡大や人数を増やしていきたいと考えている。私ども

としても控えめな数字で、皆様としても問題があるかもしれないが、そういったことで算出した数字である。

大島音楽協会に関しては、あまり活動の内容がわからないが、以前、私が見せていただいたコンサートでは、外部からゲスト等呼んで、著名な方だと100人以上の方が来られるようだが、そうでないゲストのときなどは60人くらいということで、いろいろ予算をかけているようだが、ふれあい館等を使っているにしては少し寂しいようである。

【杉田委員】

ゲスト出演料が8万円ということだが、最初はアマチュアだけで和気あいあいとやってみれば良いのではないかと思う。ゲスト出演料が多額ではないにしろ、そういったゲストを呼ばない方向で一度やってみるといってお考えはあるのか。ゲストがどういった方かわからないが、集客力がある方なのかどうか、まずは、アマチュアが集まってやってみてはどうかと思うが、いかがか。

【浦川原音楽協会】

ゲストに関しては、未定である。アマチュア等住民の方だけで開催することもできるが、何かしらのお手本というか、一流というか、ある程度卓越した演奏や技術を持っている方を見る機会にしたらどうかと、また、参加した方々がその後の技術向上に寄与するのではないかということで、ゲストは未定ではあるが、そう考えている。

場合によっては、近隣のセミプロ的な方をお呼びすることになるかもしれない。ただ、浦川原まで来ていただくということになれば、何かしらの謝礼をお支払するということになる。それについては、こちらの助成金の結果次第で計画を臨機応変に考えて行こうと思っている。あくまでもこのファミリーコンサートは営利目的ではなく、住民の皆さんのお楽しみを創出するというのが一番の主題であり、ご理解いただきたい。

【藤田会長】

浦川原区で新たな文化を生み出していただくということで、今ほど杉田委員から意見のあった、どういったコンセプトでいくかということは、皆様方のお考えで良いと思う。総額で17万5千円が不足しており、減額されてもこの事業を実施していただけるか。

【浦川原音楽協会】

3年前に開催した後、住民の方々から「またやってほしい。」という声をいただいております、どんな形であれ必ず開催したいと考えている。

【藤田会長】

地域課題の解決に向け、さらなる努力をお願いしたい。

(次の提案者と交代)

自己紹介の後、提案の説明をお願いします。

【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】

(第5回うらスポマラソン大会の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

皆さんのご意見、ご質問を受ける。何かないか。

(会場内声なし)

このゼッケンは毎年作るのか。

【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】

ゼッケンは毎年変わる。ゼッケンはランナーの方に持ち帰っていただき、記念にしている。

【藤田会長】

他にないか。

(会場内から「ありません。」の声)

全体で17万5千円の不足があり、減額されたとしても実施していただけるか。

【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】

はい。実施は決定であり、減額であろうとやらせていただく。

【藤田会長】

今後とも取組をお願いします。

(次の提案者と交代)

自己紹介の後、提案の説明をお願いします。

【浦川原イレブンボーイズ】

(青少年少女サッカー・フットサル普及整備事業の提案に沿って説明。)

【藤田会長】

委員の皆さんからご質問、ご意見を受ける。よろしいか。

それではないようなので、総額で17万5千円の不足であり、減額されても事業の実施をされるか確認したい。

【浦川原イレブンボーイズ】

はい。何とか実施したいと考える。

【藤田会長】

常に自助努力されている姿には敬意を表しているところで、今後ともご努力を続けて
いていただきたい。

(次の提案者と交代)

時間がかかなり進んでいるが、これより10番目の「うらがわら雪あかりフェスタ」の
プレゼンをお願いします。自己紹介の後、提案の説明をお願いします。

【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】

(うらがわら雪あかりフェスタの提案に沿って説明。)

【藤田会長】

皆さんからご質問、ご意見を受ける。

【市村委員】

安塚の奥地と浦川原の入口では、この時期、雪の量が違うと思うが、暖冬の影響もあ
り、この浦川原では、だんだんと寂しい状況になってきている部分があると思う。全体
協議もされていると思うが、日程の変更はできないのか。もう1つは手持ち提灯が来て
いただいた方の邪魔にならないのか、そばを食べるときなど、邪魔になるのではないかと
感じるがいかがか。

【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】

開催日については、実行委員会の反省会するときにも出た。3年続いて暖冬ということ
で、今回も朝方までは雪が降っていたが、その後急に天気が良くなった。その前年も朝
から天気が良かった。午前中に作った雪灯籠を、午後からもう一度作り直すといったと
ころがほとんどであった。一昨年も体育館でそういった苦労があった。そういったこと
で日程を変えたらどうかといった意見があったが、市のレルヒ祭等、いろいろなことが
重なって、恐らくこの日以外は難しいのではないかということであった。1日だけでは
なく2日間の開催ではどうかといった話もあったが、浦川原でも有島から^{しも}下の方は雪が
少なく天気が良いと雪灯籠が2日間も持たないということで、こちらも難しいと委員会
の中で話し合われた。市の実行委員会へはそういった意見が出たということで検討はし
ていただく。ただ、少し難しいのかなと感じる。3年連続暖冬が続いたということで、
今年の冬は期待できるのではないかといたら迷惑な方もいるかと思うが、これからの
3年はそんなに心配はいらないのではないかと考えている。

提灯の件は、灯籠のある所の足元は明るい、バスから降りて会場へ行くまでが暗く、
例えば月影の郷や虫川では駐車場が暗い。提灯を見た方が「素敵だ。」とあっていただ
き来年も提灯を借りたいということになれば良いと思う。ただ、市村委員の言われるよ

うに、そばを食べるときには確かに邪魔になると感じる。その辺、我々実行委員会は考えていなかった。今後、反省を踏まえてどういった使い方をしていけば良いのか参考にさせていただきたい。一度きりの提灯ではなく何年も使うものである。ろうそくではなくLEDを使ったものであるため、一度購入させていただければ何年も持つので有効利用させていただくつもりである。

【藤田会長】

他にないか。全体で17万5千円の不足であり減額されてもこの事業を実施していただけるか。

【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】

はい。間違いなく実施させていただく。

【藤田会長】

それでは10件のプレゼンテーションが終わり、時間が少し余ったが、これより食事休憩とする。休憩中に事務局が集計作業を行い、午後2時より全体審査に入るので、お集まりいただきたい。

(食事休憩後、午後2時から全体審査)

【藤田会長】

それでは、全体審査に入る。事務局より集計結果について説明をいただく。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

(採点結果一覧、採否決定記録票に沿って説明。)

【藤田会長】

これまでの地域協議会で確認したとおり、提案事業が浦川原区の採点方式に合致しているか、個人審査の結果がどうか、これから皆様からいただく意見を総合的に踏まえて決定していきたい。委員の皆様から忌憚のない意見をいただきたいと思う。

それでは、委員の皆さんから意見をいただく。

【藤田会長】

(会場内声なし。)

浦川原区の配分額が550万円に対して、希望額が567万5千円ということで17万5千円をどう扱うかということで協議をお願いしたい。

【池田委員】

8番の「第5回うらスポマラソン大会」で減額されても実施するというので、毎年実施していただいているが、コメント欄にゲストについて「世間にあまり知られていない。」「減額」と書かれているが、以前も出ていたが日程も決まっています、呼ぶ方も決まっています、今回ゲストに対して「支払うお金だけを考えてくれ。」ということであるが、これはある意味フライングではないかと思う。先に決めてから後でお金をくださいというような考えで、その辺で、地域活動支援事業に対して根本的な考え方を始めとして、もう少し考えていただきたいという点から、希望額の38万2千円について私は減額に値するのではないかと考える。

【福井委員】

今の意見に対して、開催日が6月中旬ということで、それに間に合わせるためにゲスト等を決めるとなれば、もっと早い段階で決めておかなければならないわけで、4月に提案いただいたものがフライングということには当たらないと思うが、いかがか。

【藤田会長】

フライングだ、フライングではないといったお話だが、この事業については先行しても構わないと、ただし、地域活動支援事業では必ずしも金額を保証するものではないということであり、その辺を詰めていただきたい。

【村松清委員】

このコメントは私が書いたものであり、「ゲストについて世間にあまり知られていない」全体として金額がオーバーしているのであれば減額してもいいのではということなので記入した。

【藤田会長】

他にご意見はないか。今、8番に集中しているが。

【福井委員】

「モミジまつり」のモミジの木が非常に高価だと感じる。こんなに高いものなのかと思う。実際、この値段なのかもしれないが、恐らく太さが何cmと言われていたが、例えば樹高が2mのものと3mのものでは値段が違うと思う。この「モミジまつり」に関しては、審査項目の急を要するかどうかといった場合、急を要するものでもなく、少し小さめのものを選ぶなどして、5品種を6本ずつということだが、1本ずつ減らしていただくなどの対応ができるのではないかと感じたが、いかがか。

【市村委員】

プレゼンの時に質問させていただいたが、「ふるさと公園の桜を楽しむ会」が植える

かと聞いた時に業者から3人来て一緒にやると言われていて、その人件費も込みで、恐らく2万くらいというような金額になっているのではないかと思います。また、枯れた場合にどうするのかといった保険も含めているのではないかと、私は解釈した。だから苗だけであれば、そこまでしないと思う。業者から人が3人来ればそれだけで6万円近くになると思う。また、運搬等もあるので、恐らく苗だけの値段ではないと思われる。

【藤田会長】

減額してもいいのではないかとということと、人件費も含まれているということであるが、この申請書の予算の中で「二脚鳥居型支柱材 30基」とある。それと「添え木 30本」とある。これは必要な物であろうと思っている。また、価格的には業者の見積りも付いており、これに基づいて審査するという方法しかないと思う。

【杉田委員】

私の経験からすると、野山に植栽する際はどれだけ植えればいいのかとは言えない。この30本という数が適正なのかかわからないが、まばら過ぎると群落として、見栄えが悪く植えた意味がなくなってくる。また、苗も3年物と言われていたが、常識的には5年物であり、幼木、若木が育つまでにはかなりの時間がかかってしまう。幼木のときは成長が遅く、ある程度育ってこないとな成長が進まない。ということで、3mの鳥居型支柱を添えてやるということが必要である。

ということで、これを減額して本数を減らすということは反対である。

【藤田会長】

杉田委員の意見が少しわかりづらかったのだが、本数を減らすと意味がないということか。

【杉田委員】

減らすべきではないということである。

【藤田会長】

それとオーナー制の物は小さな苗木ということか。

【市村委員】

そうではなく、3mのものを1人1本、3,000円を出してもらおうということで、30本だから9万円ということである。それに名前というかオーナーという感覚だと思う。

【藤田会長】

では、上の欄の6本ずつ購入する木は、完全に成長した木なのか。

【市村委員】

その木の1本ずつに、1人が3,000円出すということであると思う。

【杉田委員】

名義貸しだと思う。所有権を与えるわけではないと思う。

【村松進副会長】

私が今日1番から10番までプレゼンを聞いた中で落とせないと思ったのは4番の「浦川原中学校同窓会」と7番の「浦川原音楽協会」である。

中学校に関しては、楽器が不足していて、ときどき中学校へ行くが、生徒が一生懸命やられている。そして7番の「浦川原音楽協会」だが、手探りながらこれから立ち上がっていったって頑張っているサークルだと思うので、支援事業を通して支援してあげべきだと思う。

1番のモミジだが、私は10年前に個人で桜の木を植えたことがあり、その時に鳥居型の支柱を業者からやっていただいたが、やはり1本2万円ほどかかっており、耐久性は鳥居の部分が壊れるまで5年ほどは大丈夫である。モミジで一番怖いのは折れたらそこから腐っていくということであり、モミジはのこぎりで切ってはいけないと言われている。やはりどこか減額しなければいけないと思うのだが、1番の「ふるさと公園の桜を楽しむ会」は、春に盛大に観桜会をしていただいて、徐々にモミジを増やしていったいただければと考える。

それと、「和太鼓購入事業」の件も考えたが、今ほどのプレゼンを聞いて自分たちが努力してもどうにもできないことがあり、これも支援していかなければならないと思っている。昨年も和太鼓祭は減額されており、毎年の減額では良くないのではと思う。内容的にも減額する部分はないと思われる。

それと「俵みこし」も集落で盛大なものができないかと思う。40年続いている祭りということであり、妥当だと感じる。また、「うらスポマラソンも」支援していきたいと思う。

【総務・地域振興グループ飯野班長】

7番の「うらがわらファミリーコンサート事業」だが、特記事項で「浦川原コミュニティプラザでは狭いのではないか。」と書いてあるが、ピアノを使用するというので、恐らくコミュニティプラザの4階の市民ホールを会場として想定していると思われるが、こちらの収容人数は最大140席となっている。情報提供させていただき、審議の参考にしていただきたい。

【藤田会長】

市民ホールだと140人まで大丈夫であるということである。他にないか。

【池田委員】

1番の「モミジ」について、3mものを2mものにして減額というお話があったが、2mという私たちの身長より少し高いものであり、それを植えて雪害にも耐えうるものをということで、3mを選んだとプレゼンで言われていたと思うが、今、幼木は成長して大きくなるまでには時間がかかるという話があり、実際に私も体験したことがあり、鉢植えのモミジの木があつて、邪魔に思い屋敷に植えたが3、4年しても大きくならなくて、5年ほど経ってある程度大きくなったら成長が早い。それで、この3mものに関して発言があったが、外にこれを植えてもそんなに大きな苗木だとは思えないということで、1番に関しては良いのではないかと思う。

そして、8番の「うらスポマラソン」でフライングではないかと私が発言したが、福井委員に指摘されて、私の考え方が違っているのかもしれないが、毎年のものであり、来年度のゲストの予定を今年度の地域活動支援事業で提案するというは無理があるかと思うが、考え方、発想的に今一つ腑に落ちないところがある。そのことを聞いてほしかった。

【藤田会長】

池田委員のおっしゃりたいことは、あまりにもこの支援事業に頼り過ぎているのではないかということだと思うが、そういった意味では、私が申し上げたが「浦川原桜づつみ」で公園のライトアップが毎年、設置、取り外しをするということで、恒久的なものをお願いしたいと、当初に説明があったと思うが、なぜか毎年取り外すということでは維持管理が大変であり、それを毎年この地域活動支援事業に提案するということでは良くないと考える。やるなら恒久的なことをどのくらいでできるのか、一度確認したかったが、今日はそのお話はなかったなので、お願いをした。当初は取り外すというお話ではなかったと思う。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

事務局でこの「桜づつみ」の提案書を受けた際に確認させていただいたが、ライトアップ設置・撤去工事は昨年度の地域活動支援事業で消防器具置場の横に設置したライトアップ用の設備、こちらは常設になるが、これの電源を供給するための費用ということで、通年電気を通してしまうと、ずっと電気料がかかってしまうので、ライトアップする期間だけ電気料が発生する仕組みにするため、その部分の見積りをいただいたという

お話であった。ライトアップについては、それプラス、会の皆さんが提灯を桜の所に付けるが、そちらは取り外しをしているというお話であった。

【藤田会長】

電気料ということか。設備は何もいじらないで、開設と撤去するときの工事料ということか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

そうである。その中に電気料も含まれていると聞いている。

【池田委員】

今の話はわかりにくかったのだが、要するに電線、電気が引っ張ってあるわけではないと思うが。必要なときだけ電源を用意して電気でライトアップするというだけでやっていると思うのだが。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

昨年度の地域活動支援事業でライトアップ設備ということで、電柱1本と灯光器の照明を2つ付けたものが、昨年度設置済みとなっている。それについては、常に通電しているわけではなく、祭りの時期だけ電気を引き込んで、終わったら撤去するという事で、今回電気の設置と撤去とはそういうことだと聞いている。

【池田委員】

実際に、今は必要なときには東北電力の電気を使ってやっているということか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

そうである。

【池田委員】

私らの虫川の農家組合などは東北電力と契約しているが、4月から8月までというように契約していて、冬期間は電気料がかからないようになっている。そういうやりかたで契約しているということか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

期間までは把握していないが、意味合いは使用するときだけ通電させるための開設と閉じるときの費用と聞いている。

【藤田会長】

今のお話では納得できない。引き込み線の設置と撤去。池田委員の言われたようにセッティングされていて期間だけ使うと、農業用の用水ポンプ等はそうだと思うが、そういったものとは違うのではないか。これは電線を外すということではないのか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

私の手元に図面があり、皆さんにはお見せできないのだが、昨年度の地域活動支援事業で電柱1本とライトアップ設備を設置した手前にもう一本電柱があり、これは長走の現町内会長さんの持ち物で、そこまでは電気の配線は来ているが、そこからライトアップ設備までの配線はしていないということで、その部分を設置するための設置費用と撤去費用というお話であった。

【村松進副会長】

電線ごと外すということか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

そうである。

【池田委員】

すぐ側まで電源を持ってきて、そこから引っ張れるようにすれば良いのではないか。それで、東北電力との契約で8月なら8月、1か月分請求にしてもらえば良いのではないか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

そうですね。

【藤田会長】

やはり、恒久的な設備を考えた方が良いのではないか。毎年、これが発生するわけで、管理費は大変だと思う。これについては、条件を付けなければと思う。

【村松清委員】

7番のコンサートの関係で、コメント欄に「54人」と記入したのは私であり、申請書の入場料収入で500円×54人とあったため、54人しか入らないのかと思い記入させていただいた。

【藤田会長】

他に何かないか。

【市村委員】

今年は17万5千円がオーバーということで、単純に1団体3%ずつ削れば良いというわけにはいかないということはわかる。意見を出した中で、最終的にどうするのかということを考えたときに、1つは金額が大きい和太鼓購入で我慢してもらえるとということになればそれで済んでしまうが、各団体で良い所、悪い所があり、各団体から少しずつ減額するというものでいいのか、意見を出すだけ出して、必要のない部分で、どこか

の団体を減額するのか、その辺の方向性というか、会長の意見を聞かせていただきたい。

【藤田会長】

私は議論をしていただくに当たり、オーバーした分を平均的に減額するということには反対である。地域活動支援事業の目的、優先採用の方式に適合しているということを委員全員で確認しており、その中で何をどうするのかという抽出が必要だと考える。単純に平均的な減額ということは、いかななものかと思っている。

【和栗副会長】

今、金額を調整している中で、各団体に点数を付けているわけで、この点数を参考としていけば良いと思うが、そうでなければ、この点数を付けた意味がないのではないかと。その中で皆さんが平均して意見を上げていけば良いのではないかと思う。

【藤田会長】

専門的なことであるが、1番のふるさと公園の鳥居式の支柱で、これは木だと言うが耐久性はどうなのか、大丈夫なのか。

【村松進副会長】

3年は持つと思う。

【藤田会長】

以前、私は月影地区に声掛けしたができなくて、熊沢町内会単体で自治宝くじの配分金で桜の木を300本植えたが、その囲いは工事用の単管を組んで、半永久的にやろうということでやった。今、3年はもつと言われたが、雪の量にもよると思う。妙高市の青少年の研修の家があるが、その近くに体験施設があって見学させてもらったことがあり、そこはこの辺と雪の量が違うと思うが、この囲いについては全く役に立たないと、1年で壊れたという話をされていた。見た目は非常に立派であった。それよりも実用的なものが良いということで、この地域活動支援事業を使って単管で実施した。

そういったことを考えると、この囲いの部分はそういった方法でやったらいかがか。中猪子田出身の市村委員、杉田委員のお考えはいかがか。

【杉田委員】

3mの苗木ということで鳥居型を使わないと冬がもたないと思う。私は3年ではなく5年はもつと思う。

【藤田会長】

あそこは、なだれ地帯ではないのか。斜面だと思うが。

【杉田委員】

斜面ではあるが、あそこまでは及ばないと思う。心配はいらないと思う。

【藤田会長】

ほかに意見はないか。

【杉田委員】

単品のもので、和太鼓などは高価であり、もう少し勉強（値引き）してもらえれば、実際値引きされていると思うが、減額されても実施していただきたいと思う。

【池田委員】

8番の「うらスポマラソン」だが、収入の部で参加費の部分、中学校の生徒で300円×80人となっているが、確か中学校では授業の一環でやっていると聞いたことがあり、それなのに昼食代なのか豚汁代なのか参加費300円を取るということはどうなのか。委員の中でわかる方がいたら教えていただきたいと思う。

【藤田会長】

中学生は授業の一環で参加するという事は知っているが、この参加費を取るということは私も承知していない。

【池田委員】

わからなければ結構である。

【村松進副会長】

昨年は昼食代と言っていたような気がするが。

【藤田会長】

いろいろご意見も出ていて、実際に金額に踏み込んだ意見も出ているため、取りまとめる方向で進めていきたい。いかがか。

今、出ているのは、8番の「第5回うらスポマラソン大会」、6番の「和太鼓購入事業」、1番の「ふるさと公園『モミジまつり』事業」の件が出ている。それと今後の問題になってくると思うが、3番の「地域活性化モデル事業」と、あと「『俵みこし』の補修による盆行事事業」である。

杉田委員の言われたように、金額の一番大きな和太鼓購入の166万円で、見積りを見ると、既に値引きされた金額になっており、これ以上、交渉の余地はないように思われる。石川県の浅野太鼓楽器店の見積りで、181,693円の値引きになっている。

【村松進委員】

この資料に太鼓のカタログが添付されていて単価が記されているが、2尺のものが174万3千円となっていて、これが税込の価格だと思うが、ここから消費税分を引くと

161万5千円くらいになると思うが、浅野太鼓の見積りでは152万3千円ということとで約10万円の値引きになっている。

【杉田委員】

先ほど、太鼓が高額で勉強を（値引き）と発言したが、今ほど約1割引いているということのようである。そしてコメント欄に「スケジュール調整云々」と書いてあるが、これには賛成である。そういった意味で緊急性ということからすると、ないよりあった方が良いということであり、失礼かもしれないが、次の機会にさせていただいた方が良いのではないかと思う。

【藤田会長】

他に意見はないか。今、皆さんから審議していただいた思いを金額に表していただくという形になるわけだが、大変辛いことではあるが、これを決めないと今日は終わりにならないため、ご意見をいただきながら調整していきたいと思う。

（会場内声なし）

あまり声がないようなので、私の思いを申し上げたいと思う。

1番の「ふるさと公園『モミジまつり』事業」については議論があり、もう少し工夫の余地があるのではないかという声もあり、希望額は89万円だが、7万5千円を減額とする。3番の「地域活性化モデル事業」に関しては、配線等で前回との行き違いもあったが、大変努力されているということについて敬意を表さなければならないということだが2万円の減額とさせていただく。4番の「浦川原中学校吹奏楽部支援事業」で、これも2万円の減額、それから、5番の「『俵みこし』の補修による盆行事事業」で、いろいろ努力されていて、多少の減額があつたら実行できないという状況ではないということで3万円の減額、8番の「第5回うらスポマラソン大会」から3万円の減額とする。これで17万5千円にならないか。

【池田委員】

なる。

【藤田会長】

私はこのような案だが、皆さんはいかがか。ご意見があればいただきたい。

【村松進副会長】

なるべく中学校の2万円の減額はしたくないのだが。

【藤田会長】

では、代わりの案はないか。

【村松進副会長】

それをするなら、和太鼓購入の方で何とかしていただければと思うのだが。

【池田委員】

村松進副会長から意見があったが、浦川原中学校の吹奏楽部で2万円の減額を、和太鼓購入の166万円から2万円の減額ということで、私も賛成である。

【藤田会長】

他に意見はないか。

【杉田委員】

17万5千円という、昨年からすると微妙な数字であり、今言われた1番の「ふるさと公園『モミジまつり』事業」から7万5千円の減額というのは、一番減額しやすいと思われたのか、少し安易なような気がするので、再考していただければと思う。

桜つつみも減額が2万円ということだが、高価な動噴の購入の件で借りる日程がバッティングするといった話があり、失礼だが、にわかには信じがたいと感じる。自前の物を持ちたいという気持ちはわかるが、いくらでも調整ができるのではないかと感じる。1番のふるさと公園にしわ寄せが来すぎると思うのでもう少し配慮をお願いしたい。

【藤田会長】

素人でわからないが、理論的根拠がなく言ったわけではなく、養生としての支柱の部分で、例えば工夫すれば良いのではないかという意味で申し上げたが、そういった方法は成長するまで考えられないのか。やはり、化粧的なものもいるということなのか。それで、この支柱材一式、これは工賃込だと思うが、11万1千円ということで、これの約7掛けということである。

他に代案があればお示しいただきたい。

【市村委員】

本当の金額といったものをまだ調べていないため、こうすれば安くなるといった金額は言えない状況であり、私は太鼓購入が166万円ということで、自分の所では出せないためこの金額ということで申請されているが、業者ともう一度交渉して、もう少し、5万円でも6万円でも何とかしていただくように交渉していただければ非常にありがたいと感じる。

今回、保倉川太鼓は和太鼓祭と太鼓の購入で200万円以上の金額になっており、そういった部分も鑑みて、もう少し頑張っていたいただきたいと思います。

【藤田会長】

金額的にはいかがか。

【市村委員】

端数分の6万円の減額ということでお願いしたい。

【藤田会長】

では、160万円ということか。

【市村委員】

業者も1台を売る、売らないということで考えると思う。買わないということになれば160万円が入ってこないわけで、再交渉をお願いしたい。

【五十嵐委員】

昨年の地域活動支援事業のプレゼンで、浦川原体育館での公演を無料でやられるということで、次年度からは入場料を検討してはどうかといった意見が出た。今回も共催ではなく後援ということになっており、自主開催をするためということであったが、もう少し勉強というか、自助努力をしていただきたいと感じる。

【藤田会長】

それでは今の2人のご意見は太鼓購入ということで、まとめると。

1番の「ふるさと公園『モミジまつり』事業」は1万5千円の減額、3番の「地域活性化モデル事業」は2万円の減額、4番の「浦川原中学校吹奏楽部支援事業」は減額なしということで、5番の「『俵みこし』の補修による盆行事事業」は3万円の減額、6番の「和太鼓購入事業」で6万円の減額、「第5回うらスポマラソン大会」で3万円の減額ということで、合計いくらになるか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

552万円になる。

【藤田会長】

あと2万円。

【村松進副会長】

1番を1万5千円ではなく3万5千円でいいのではないか。

【藤田会長】

ふるさと公園を3万5千円の減額ということだが、いかがか。

【総務・地域振興グループ宮川班長】

それでは、読み上げる。

1番 ふるさと公園「モミジまつり」事業 855,000円

2番	第9回浦川原和太鼓祭	480,000円
3番	地域活性化モデル事業	500,000円
4番	浦川原中学校吹奏楽部支援事業	520,000円
5番	「俵みこし」の補修による盆行事事業	307,000円
6番	和太鼓購入事業	1,600,000円
7番	うらがわらファミリーコンサート事業	220,000円
8番	第5回うらスポマラソン大会	352,000円
9番	青少年少女サッカー・フットサル普及整備事業	427,000円
10番	うらがわら雪あかりフェスタ	239,000円
	合計	5,500,000円

となる。

【藤田会長】

金額的にはこれでよろしいか。

(会場内声なし)

これは、皆さんから賛成していただかないと次のステップへ進むことができない。よろしいか。

(会場内「はい。」の声多数)

【総務・地域振興グループ宮川班長】

今ほど、金額がこれで良いと確認できたが、提案団体への連絡については金額のみ提示させていただき、事業費を圧縮するなり、事業を取りやめるなりを提案団体から考えていただくか、自主財源を増やしていただくかの2点になると思われるが、それ以外に提案団体へ付帯する意見等はないか。

【藤田会長】

特にないと思われるが、というのは減額されたとしても事業を継続するといったお話であったため、ないと思うが、委員の皆さんから何か付帯意見を付け加えることがあればお聞きする。特になければこの金額で決定したいと思う。よろしいか。

(会場内「はい。」の声)

それでは、これで平成29年度上越市地域活動支援事業の金額を決定させていただく。それでは地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。